

1 教育政策の基本理念 「みんなで生きる」

○ アイデアの承認→効果的なコミュニケーション→組織的な活動→ビジョンの形成→協働したビジョンの達成

2 教育の基本方針 「教育は人づくり、教育は社会づくり」

- 人づくり [個人や社会の多様性を尊重し、確かな自己を持ち、共に支え合い、高め合える人づくり。]
- 社会づくり [一人ひとりが活躍し、豊かで安心して暮らせる持続可能な村づくり。]

3 教育政策の重点項目

1 コロナ禍後の共同的組織体としての学校教育の再編

- 自然の豊かさをみんなで学び、社会の課題をみんなで解決することを礎とした学習を継続し、急速に変化する環境の中でも生き残る力を育成する学校。
- 個性や多様性に寛容で生きづらさや、いじめを生まない共同体として、画一性を強要しない生き方を育成する学校。

3 子どもたちが持つ可能性の開拓

- 「学びの基礎」としての学力、「学び方の基礎」としての学力を育成する。
- 人権尊重を基盤とした学力格差を生まない授業を開発する。
- 教育環境としての学びのセーフティネットを構築する。

5 新たな自己発見への意欲の涵養

- PBL(問題解決学習)に根ざした教科横断型カリキュラム等に基づく、主体的、協働的な学びを実践する。
- 何のために学ぶのかを考え、成長を実感できる学習を積み重ねる。

2 誰一人取り残さない絆社会・防災社会の創造

- ふるさと塾を効果的に運用し、ふるさとを知る体験学習を充実する。
- 命を守り、幸福な社会を拓くため、知を活用した迅速で柔軟な判断力、行動力を育成する。
- 相手の立場や気持ちを慮り、助け合う力を育成する。

4 一人ひとりが持つ強みの伸長

- 国際的規範や高い語学力、コミュニケーション力、スポーツ能力、情報処理・活用能力等を持つグローバル人材の育成を育成する。
- 考えを比較したり、関連付けたりして、自分の考えとの共通点や相違点を考えさせる学習を積み重ねる。

